景観まちづくり研究室
Landscape Architecture and Community Design Laboratory
SHIBATA Lab , Fukuoka University , Sinse 2005

Project Report

警固公園再整備事業

所 在 地 ：福岡市中央区天神2丁目
Location : Tenjin 2-choume, chuo-ku, Fukuoka city

事業主体 ：福岡市役所住宅都市局
みどりのまち推進部
Project Implementing Body : Housing and City Bureau, Fukuoka City Hall

種別/規模：近隣公園 / 11382㎡
Category/ Size : Neighborhood Park/ 11382 m²

事業期間 ：2011- 2013年度
Term : 2011 - 2013

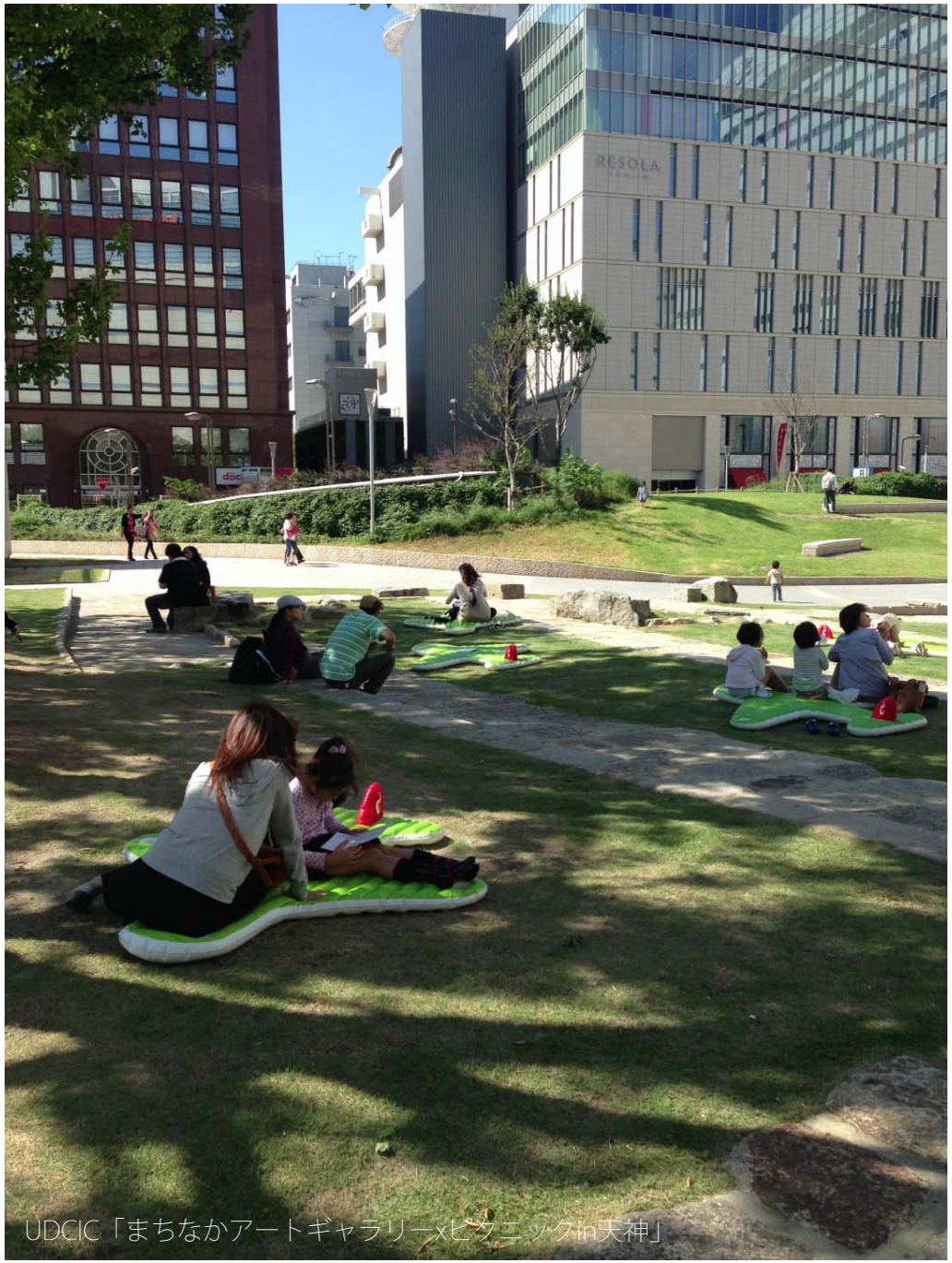
2012年12月　改修後の警固公園

ソラリアプラザ3階カフェからの眺め

園内の様子

撮影：高見 公雄

園内の様子

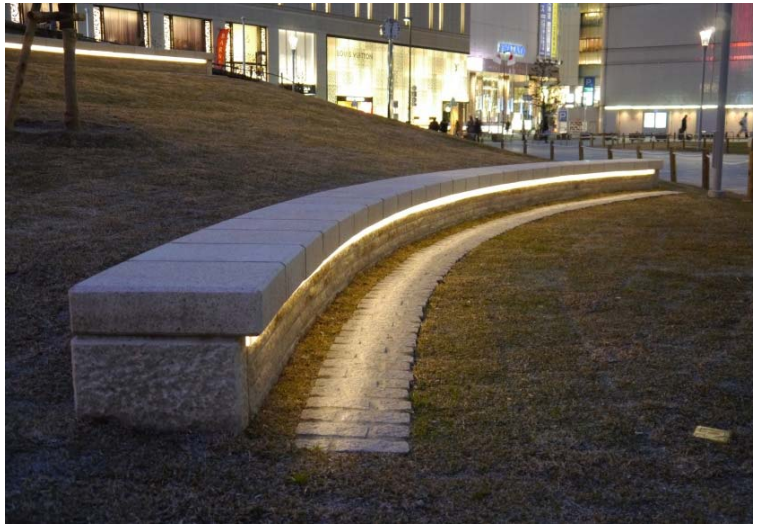


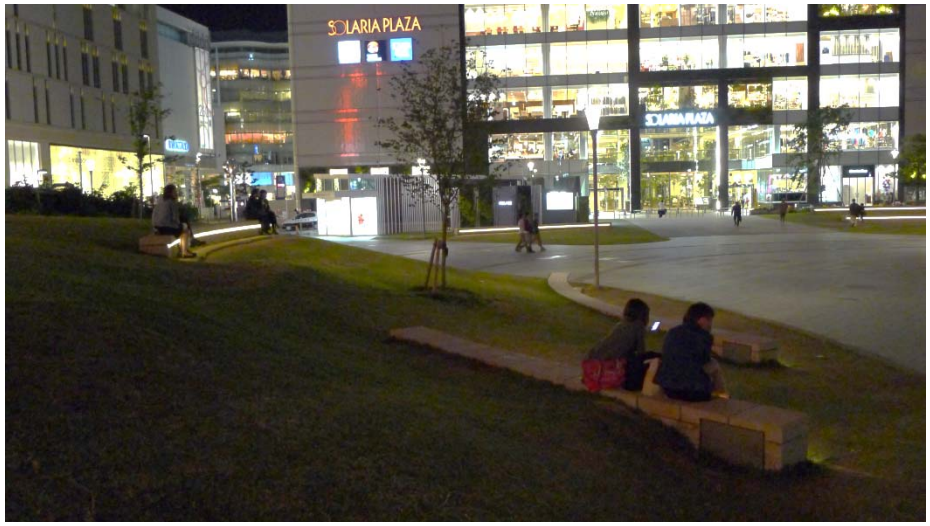
UDCIC「まちなかアートギャラリーxピクニックin天神」

DESIGNING 2013

→改修後の警固公園では、広くなった中央広場において多くのイベントが行われている

夜間の様子





→夜間においても往来する人々や休憩する若者等の姿が多く見られ、冬場にはイルミネーションなどのイベントも行われている

15 文化 12版 2013年(平成25年)7月8日(月曜日) 読売

文化 Culture

考景 2013

警固公園（福岡）

デザイナーと利用者の対話

藤村龍至

福岡在住の若手建築家、井手健一郎氏は、自身が9年間にわたって継続して主宰しているデザインイベント「デザイニング」のメーン会場にリニューアルオープンしたばかりの警固公園を指定。5月10～13日、仮設のテーブルやベンチ、カフェ等を設置し、ワークショップやトークイベントを開催した。九州産の足場板を用いて、仲間と一緒に自分たちの手で組み立てたのだという。新しい試みに関係者の合意を取り付けるのに手間取ったが、社会基盤はユーザーが手を出せないものではなく、自らの手で使っていくべきだという。

井手氏に招かれて会場を訪れた私は、都市空間の中心でこのような試みが行われていることに大いに驚いた。公園デザインを担当した柴田氏と、福岡市の警固公園は、西鉄福岡駅ビルに隣接し、道路を挟んで南側には警固神社があるという立地で1951年にオープンした。もともと和風庭園風の築山や池などが配置されていたが死角が多いために犯罪が多く、リニューアルが計画され、2012年12月に再オープンした。

公園のリニューアルにあたっては福岡県警、福岡市役所、住民、大学が一堂に会す「警固公園対策会議」が定期的に開催され、合意形成を図りながらデザインが行われたのだという。同会議に参加し、リニューアルデザインを担当した福岡大学の柴田久准教授によれば、当初は安全安心とデザインがリンクしておらず、柴田氏が会議に参加することになり、やがて全体のデザインを任されるようになったという。

イベントを企画した井手氏、同じく九州在住の若手建築家、坂口恭平氏、水谷元氏とともに、警固公園の中心に設置された即席の会場で、オープンスペースのデザインはいかにあるべきか、ハンドマイクを片手に大いに議論した。

一般的に公園や公共施設は誰がどのような合意のもと、どのような意図をもってデザインしたものであるか、ユーザーが知ることは少ない。またデザイナーもユーザーと直接対話することは少ない。デザイナーが見えなければユーザーの不満もたまり、ユーザーが見えなければデザイナーも応えようがなく、ストレスがたまる。今回のようにデザインを担当した者と、その成果物の魅力を引き出そうとする意欲をもった者が出会い、討議をするような機会がもっと増えれば、日本の都市空間はもっと生き生きとしたものになる。

大勢の注目を浴びながら都市空間を一時的に占有して他人と交流する体験は実に心地よく、終了後に仮設のカフェで飲むビールは最高においしかった。いつかまた討議の続きをやりたい。

（建築家、東洋大建築学科講師）

イベントのため仮設のテーブルやベンチが並べられた警固公園（5月12日、筆者撮影）

建築ジャーナル 2013年 December No.1229

12

子どもの居場所をつくる

こども施設 特集 建築集

中村享一

九州 都市公園

福岡市の警固公園リニューアル その後の効果は「動線の広がり」と「安全・安心」の向上が確認

都市環境デザイン会議福岡大会でも紹介

32 都市＋デザイン

■特集■「公的空間のデザインと使い方」

udc

特集-01

景観デザインによる安全安心まちづくり

－警固公園のリニューアル－

福岡大学 工学部 教授 柴田 久

1. はじめに

2. 治安の悪化が問題視された警固公園

3. 再整備事業の推進体制と設計プロセス

写真1 リニューアルした警固公園

写真2 警固公園対策会議

→警固公園がリニューアルするまでのデザインプロセス、整備効果等は読売新聞（全国紙紙面）、建築ジャーナル、都市＋デザイン第32号、警察白書（平成25年版特集 第5節子供・女性・高齢者を守る総合的な取組）などに記事として掲載

警固公園の立地環境

→警固公園は西鉄福岡天神駅や三越デパート、ソラリアプラザ、RESORA天神などの商業ビルに囲まれ、公園南側には警固神社が立地している

再整備に至る経緯：旧警固公園の問題点

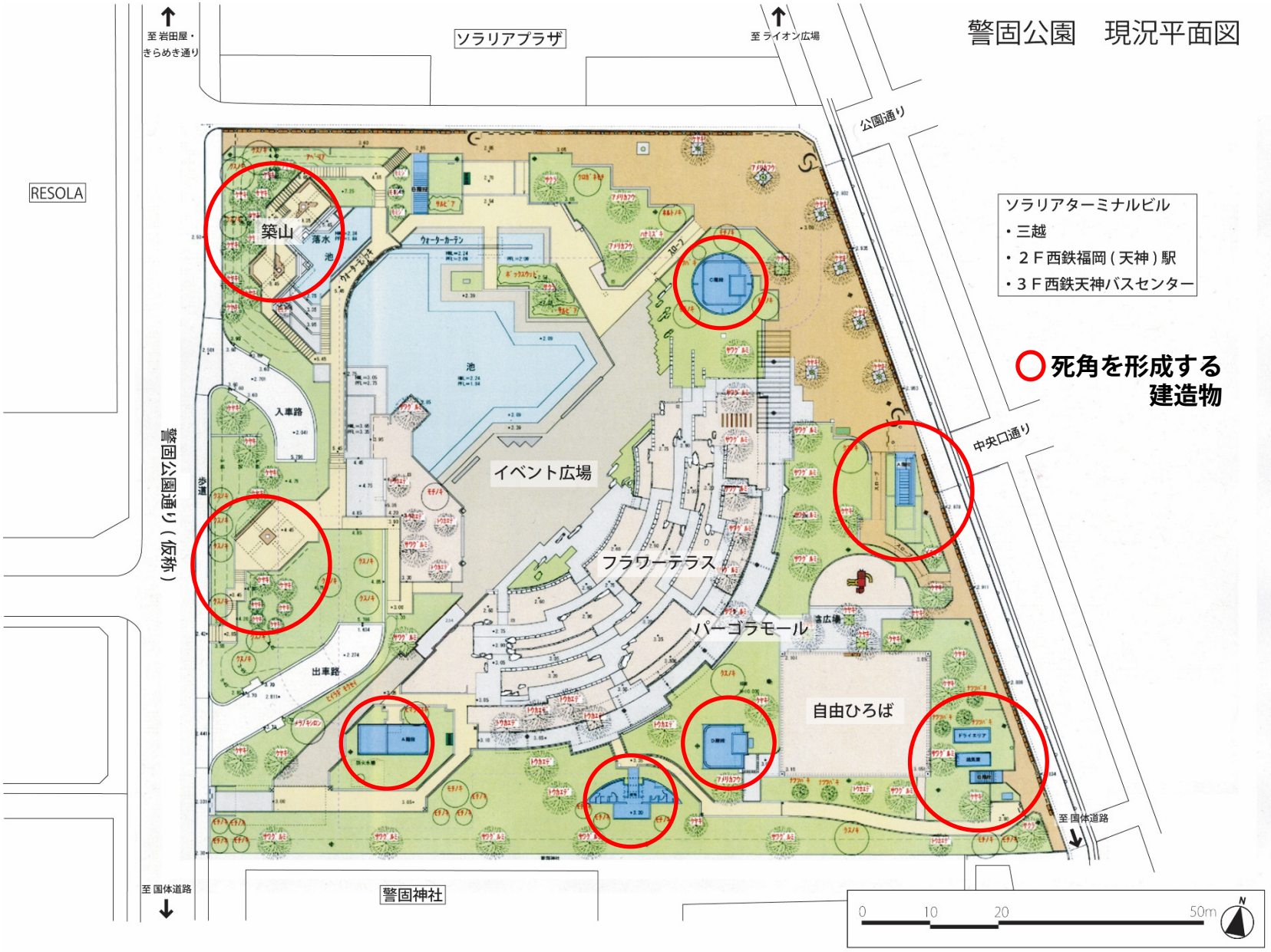
レイプ事件が発生し、立入禁止となっていた築山とウォーターデッキ

ピストバイクによる舗装面の破損

警固公園通り側通路の壁の落書き

車に連れ込む等、悪質さが問題視されていたハント族の縦列駐車

再整備に至る経緯：旧警固公園の問題点



→閉鎖的だった旧警固公園は周囲からの見通しが悪く、加えて前述した築山や警固公園通り側の通路、園内南側のトイレ周辺に多くの死角が存在し、不法薬物売買や性犯罪等発生の温床となっていた。

再整備計画において解決すべきとされた５つの課題

①見通しの確保

②公園と公園周辺の双方向に開放された動線の確保

③スケボーなど不適正な利用の仕方の抑制

④公園をセットバックし前面歩道を拡幅

⑤目につきやすい場所へトイレを移設

協議の様子

→公園が再整備される過程においては、関係者間による多くの検討会議や協議が実施された

警固公園対策会議

→警固公園対策会議

福岡県警察生活安全部、福岡市役所みどりのまち推進部、中央区役所地域整備部、天神・大名地区住民、防犯ボランティア（ガーディアンエンジェルス福岡支部）代表、福岡大学景観まちづくり研究室他が一堂に会し、警固公園の治安対策に関わる現状の報告や再整備の方針について協議・合意形成。
平成22年7月に発足し、平成26年1月までに計13回開催された。

→高島福岡市長へのプレゼンテーション

警固公園の再整備に意欲的だった高島福岡市長を表敬訪問し、提案する公園の再整備プランの詳細を、模型ならびにパワーポイントを使って直接説明、了承を得た。

→模型検討協議

再整備案の設計過程では、園内の各施設の配置、形状、周囲からの見え等を公園全体の1/100模型、細部の1/5模型等により検討・確認、関係者間のビジュアルな意識共有と合意形成が図られた。

→施工現場協議

ベンチや園内舗装などの石材や表面の仕上げなど、公園デザインに関わる細部の検討はできるかぎり施工現場にて行い、見試し作業を繰り返しながら確認・調整し、最終決定していった。

公園デザインに向けた実態調査

	概要	日時	対象者
ヒアリング調査	警固公園の現状把握,警固公園再整備計画に対する要望などを抽出	2010/11/29 2011/10/14 2012/ 1/ 6	毎週金曜日の見まわり、夜間待機といった防犯活動に従事する天神二丁目町内会長 藤木氏、ガーディアン島津氏ならびに警固神社宮司前田氏＋公園利用者(192名)
昼間・夜間時の動線および利用実態調査	深夜における動線や滞留場所のプロット図の作成等を行い公園利用に対する動向や問題点等を把握	2010/10/22、23 09:00~21:00 2011/11/24 21:00~26:00 2011/11/26 21:00~26:00	警固公園利用者

ヒアリング調査風景

動線および利用実態調査風景